

大雨の多い季節を迎えて

避難勧告が廃止されました。

これからは、**警戒レベル4 避難指示**で
危険な場所から全員避難しましょう。

- ※1「緊急安全確保」は、災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。
- ※2「避難指示」は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
- ※3「高齢者等避難」は、高齢者等以外の人も避難の準備を行い、危険を感じたら自主的に避難を。

警戒レベル		新たな避難情報等	
5	災害発生 又は発生 の恐れあり	緊急安全確保※1	緊急安全確保※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	災害の おそれあり	避難指示※2	避難指示※2
3	災害の おそれあり	高齢者等避難※3	高齢者等避難※3
2	災害は発生 したと見られる	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後災害発生 の恐れあり	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

## 令和2年7月豪雨災害

### 国民健康保険および後期高齢者医療制度における 窓口負担の免除は6月30日まで



国民健康保険および後期高齢者医療制度の加入者で、令和2年7月豪雨の被災者(床上浸水以上)に対する窓口負担(一部負担金)の免除期間は、令和3年6月30日(水)までとなっています。

また、すでに医療機関へ支払い済みの窓口負担(一部負担金)の還付については、申請期限が令和3年7月5日(月)までとなっています。

申請が済んでいない人は、速やかに申請の手続きをお願いします。

■問合せ 保険年金課

国民健康保険担当 ☎41-2606 後期高齢者医療担当 ☎41-2665 FAX41-2552

## 令和2年7月豪雨災害

その二

復旧・復興だより



本市では、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興のために、さまざまな取り組みを行っています。それらの取り組みについてシリーズで紹介していきます。

### 県内各地から応援職員が派遣されています

令和2年7月豪雨は、家屋の浸水被害をはじめ、市内の広範囲で農地・農業用施設や道路、橋梁、河川の公共土木施設などに甚大な被害が発生しました。

これら各施設の復旧を進めるため、昨年9月に「災害復旧対策室」を設置し、本市職員

のほか、県内の9自治体から派遣された、延べ33人の土木技術職員の協力を得ながら、国の災害査定を受け復旧工事を進めています。

現在も6人の皆さんが本市職員とともに、一日も早い復旧に向けて、災害復旧事業に取り組んでいます。

大牟田市の復旧・復興のために  
がんばっています！



現在の応援自治体の皆さん  
上段左から、筑後市、北九州市、福岡県  
下段左から、北九州市、福岡市(2)